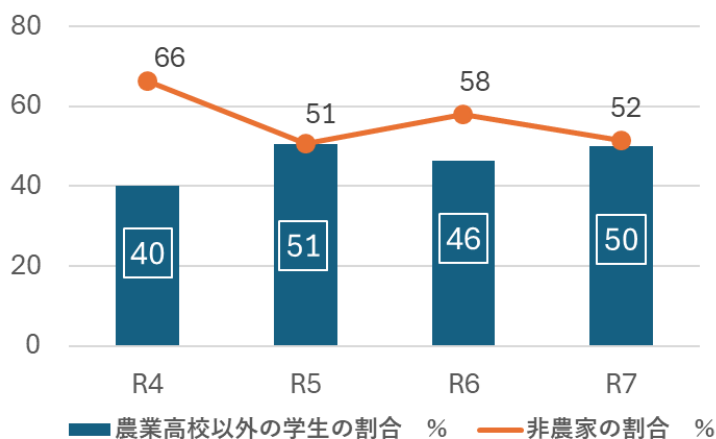


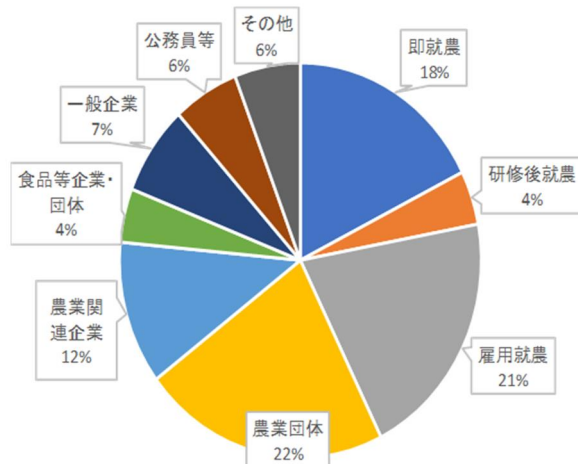
□栃木県農業大学の特長

- ・ドローンによる直播や直進アシスト田植え機などのスマート機器を導入した稲づくりの実践学習
- ・高軒高ハウスでのハイワイヤー方式によるトマトの促成長期栽培と先進的栽培技術の習得
- ・「いちご王国」でこそ揃う、新品種開発に携わった講師陣から直接受講
- ・2017年に日本なしでGLOBALG. A. P を取得し認証継続中、世界最高レベルのGAPが習得できる
- ・ICTを駆使したドリーム牛舎を活用し魅力的な畜産経営を学習、家畜人工授精師の資格が取得できる
- ・農耕車限定の運転免許（大型特殊、けん引）の取得、点検整備技能・作業安全技術の習得ができる

□入学生の動向



□進路先の概要（2025. 3. 17 現在）



□卒業生の活躍

即就農【令和6年度 畜産学科卒業 角田 陽向氏】

那須町で和牛繁殖（20頭）、水稲12haを経営する祖父母の元で就農しており、約3年後に継承する予定です。

現在、全農南那須牧場で繁殖用和牛の飼育管理や人工授精を学んで、そこで得た知識を活かして那須町の農業に後継したいと考えています。また、ドローンや人工知能などのスマート農業を活用した農場にしていきたいと思います。



即就農【令和6年度 いちご学科卒業 柏崎 智美氏】

祖父母から農地を継承して新規就農し、いちご15aの経営を始めました。

栽培・経営管理・労務管理などやることは多岐にわたりますが、とてもやりがいを感じています。

農大で知り合った仲間とのつながりは今でも続いており、経営相談などをしあえるかけがえのない存在です。



雇用就職【令和6年度 農業総合学科 作物専攻卒業 齋藤 駿幸氏】

矢板市にある大規模水稲農家「株式会社さとうふぁーむ」へ雇用就農しました。

将来は実家の「ながや農園」の跡取りとして経営を行う予定です。実家では水稲とネギをメインに約20haのほか、生姜、マコモダケ等も栽培しています。

農大ではインターンシップで新里ネギ農家に行き、ブランドネギの栽培技術や知識を得ることができました。



即就職【令和元年度 園芸経営学科 野菜専攻卒業 鈴木 一平氏】

矢板市でいちごをメインに季節野菜も少し栽培しています。卒業後3年で親から継承して経営者になりました。地元では農協青年部、いちご部会、4Hクラブに所属し、現在は4Hクラブの会長を務めています。

農大は就農について考えたり仲間をつくったりするのに適している環境にあると思います。



雇用就職【令和6年度 農業総合学科 花き専攻卒業 永嶋 改氏】

足利市にある「足利フラワーパーク」に勤務しています。私は主に花壇の植栽管理や開花調整、季節ごとの展示企画などを担当しています。来園されるお客様に“花の美しさと感動”を届けることを目標に、チームで協力しながら日々取り組んでいます。

農大では、花き栽培の実習で、種まきから開花までの過程を経験し、植物の奥深さと管理の重要性を学びました。その思い出は今の仕事にも大いに生きています。



研修後就職【令和元年度 園芸経営学科 花き専攻卒業 菱沼 由希氏】

芳賀町で花農家を営んでいます。主にシクラメン、紫陽花、クレマチス、都忘れ、アフェランドラ、ダニアを中心に栽培しています。農大卒業後は県内の花屋さんで1年間研修し、その後就農しました。

仕事でたいへんなことは、記録的な猛暑により花の成長に遅れが生じたり、病気がすなることで、ミスト導入などで温度を下げるなど工夫をしています。



即就農【令和6年度 いちご学科卒業 森岡 興隆氏】

卒業後、真岡市で12aのいちご経営を開始しました。来年は18aに規模拡大する予定です。目標は、甘くておいしいいちご作りと年間を通して病害虫を出さないこと、そして生産量向上と更なる規模拡大を考えています。

農大での先進的経営体実習でお世話になった農家に、今でも困ったときは相談しており、生涯の師となっています。



進学【令和6年度 農業総合学科 花き専攻卒業 和田 英和氏】

卒業後、宇都宮大学農学部農業経営学科へ編入しました。現在は「矢板市におけるりんご生産の持続的発展の展望」という内容の卒論を作成中です。

農大では、先進的経営体実習で本格的な農業に携わったことが思い出深かったです。実家は非農家なので、生産から流通まで一連の作業を通して学んだことは農家としての知見を深められた良き機会だったと感じています。



卒業後は自営就農や農業法人等への雇用就農をはじめ、農業関連団体・企業等に就職し、活躍しています。なかには、4年生大学に編入する学生もいるなど、多様な進路があります。